化学工業日報

エヌエス・テック、人材派遣の育成体制を拡充

2026年10月5日

人材育成



今後認定を取得し教育体制を強化する東北トレーニングセンター

製造業に特化した人材派遣を手がけるエヌエス・テック（横浜市）が人材の育成体制を拡充している。設備保全人材の不足に対応するため開所した東海トレーニングセンター（名古屋市）では２０２６年３月に同社が行う職業訓練が一定の基準に適合していることを示す「事業内職業訓練」の認定を愛知県から取得した。市場拡大が顕著な半導体・デバイス関連分野にもカリキュラムを拡張するなど、盤石な教育体制を構築している。

エヌエス・テックは製造現場への人材派遣で５０年以上の歴史を持つ。建築建材や自動車、半導体デバイスなど幅広い産業が対象だ。派遣する人材の６割が未経験者のため、現場派遣前の教育が必要不可欠だという。高橋広也取締役は「当社から派遣する方の適正に合った派遣先を紹介するためにも質の高い教育を徹底している」と語る。



派遣先の作業環境に近い状況でトレーニングを実施

未経験者や初心者の教育を充実させるため、２４年３月に東海トレーニングセンター、２４年１１月に東北トレーニングセンター（仙台市）を開所した。トレーニングセンターでは自動車の完成工場へ配属される人材向けの研修と、半導体工場のオペレーターとして派遣する人材向けの研修を展開している。加えて、両施設では工場内設備の定期点検や品質保証などを担当する機械設備保全の研修を受講できる。

半導体工場のオペレーター向け研修は人材派遣先がどういった人材を求めているかを把握し、６月に研修内容を確定した。現在は半導体を手がける企業へアプローチをかけており、１０月からの人材派遣を目指している段階だという。ＡＩ（人工知能）データセンターの需要増加や自動車分野の進歩により、半導体市場が著しい拡大をみせており、同社も半導体分野の教育に力を振り向ける方針だ。

事業内職業訓練認定を取得した東海トレーニングセンターと、東北トレーニングセンターで開講する機械設備保全研修では、未経験者でも国家資格「機械保全技能士２級」相当に準拠する内容を受講できる。機械保全や電気系保全、設備診断などを２カ月ほどかけて体系的に習得可能だ。

研修期間中は給与を支給し、寮や社宅も完備しているため全国から人材を集めることができるという。今後は東北トレーニングセンターでも事業内職業訓練認定を取得するほか、関東や関西、九州地方にもトレーニングセンターを増設する計画だ。

社員の安心感創出にも取り組んでいる。同社と雇用契約を結んでいる社員の雇用期間の定めをなくす無期雇用社員への転換を進めており、現在は７割ほどの社員が無期雇用社員となった。雇用期間の定めがある有期雇用社

員とは異なり、エヌエス・テックが必ず派遣先を確保しているため各製造現場に派遣される社員は安心して業務に取りかかれるという。

「製造キャリア正社員」という同社の正社員雇用も増加させ、人材の定着を図っている。高橋取締役は「当社に来ることで派遣する社員に付加価値が付き、収入向上にもつながるといったメリットの創出が従業員の安心感にもつながる」と語る。

住環境や現場への送迎体制の整備、福利厚生の充実など社員の働きやすさ向上にも注力。手厚いサポート体制と万全な教育体制で人材不足が叫ばれる製造業界に貢献する人材の育成に心血を注ぐ。

Copyright© 2026 The Chemical Daily Co., Ltd.